

つなぐ

Vol.31

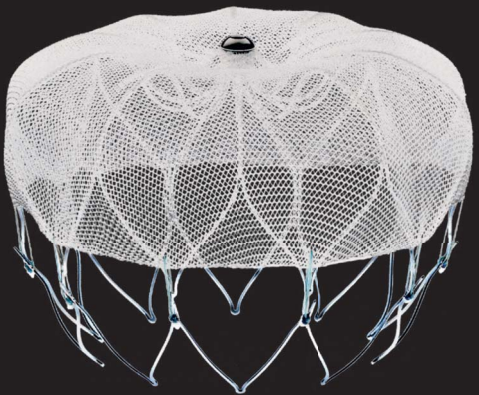
2019.10月

当院は、心原性脳塞栓症予防の新たな選択肢「ウォッチマン」を九月にスタートさせた。

心房細動は、心房が細かく震えることで血流が悪くなり、血栓ができる不整脈である。その血栓が心臓から脳に飛ぶことで脳梗塞を発症する。これまでの予防法では、抗凝固薬を生涯服用することが推奨されていたが、消化管出血や脳出血などの出血リスクを伴っていた。

「ウォッチマン」は、消化管出血などの出血合併症で、抗凝固薬を安全に服用できない患者に対し、有効かつ安全な治療法として登場した。心房細動で血栓ができてやすい左心耳に、カテーテルを用いてデバイスを埋め込み、永久的に閉鎖してしまう治療法だ。これによって脳梗塞のリスクを抗凝固療法並みに低減させながら、抗凝固薬の服用を中止することができるようになる。

一つひとつの治療法には必ずメリット・デメリットが存在するが、新しいデバイスの登場は、患者一人ひとりにあった治療法の選択肢を増やすことにつながる。これからも私たちはこの地域に、一日でも早く最新医療を届ける使命を全うしていく。



参加費
無料

第40回 小倉循環器内科セミナー

日時／2019年10月31日(木)19:00～20:30

場所／小倉記念病院 4F 講堂 [共催]小倉記念病院 循環器内科 大塚製薬株式会社

軽食をご準備しております

【特別講演】

心不全の体液管理

座長: 小倉記念病院 副院長 循環器内科 主任部長 安藤 献児

自治医科大学附属さいたま医療センター

センター長 百村 伸一 先生



参加
方法

10月29日(火)迄に、同封しておりますセミナー参加申込用紙に、必要事項をご記入の上、
小倉記念病院 医療連携課までFAXにてご返信ください。医療連携課 FAX.0120-020-027

いつもの暮らしに、いつものあなた
小倉記念病院

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野3-2-1
TEL.093-511-2000(代表)